

## なぜ、ゆるキャラかなちゃんがマナーを学ぶの？

### なぜ、ゆるキャラかなちゃんが日本文化を学ぶの？

かなちゃんは広島生まれの宇宙育ち、地球が何だか危うくなって来た感じがしたので帰ってきました。真っ赤なカンナの街道を見つけて、降り立ったのが長野県須坂市。平和な地球を夢見て、たったひとりで、宇宙からずっと地球を見守っていたかなちゃんは、須坂市でゆるキャラになりました。市長さんのお言葉「カンナちゃんは、単なる、須坂市の町おこしと言う小さなコンセプトで生まれたのではなく、日本でしかない原爆を体験した、真の平和を希求するゆるキャラとして、地球のゆるキャラとして生まれました」生みの親は橘凜保。「恕」の精神を伝えるマナー講師。「恕」とは孔子の言葉、「己の欲せざる所人に施す事勿れ」と続きます。子どもの頃から祖母に教えられたこの教えを、マナーの根幹と心得、マナーコーチング講師として伝えていきます。「恕」じょとよみます。お互いに思いを馳せ合うこと。相手の身になることと紐解いています。訓読みは「ゆるす」です。「許」のゆるすとはちがいますね。「受け入れる」と紐解いています。

まずは自分を受け入れること。「自己肯定」です。これができる人は、相手も受け入れることができます。しかし難しいことです。しかし、広島は、日本は、原爆を落とされたことを受け入れました。「過ちは、二度とくりかえしません」と原爆の碑に刻みました。日本人だからこそ、このような発想ができたと思います。報復は報復を再び呼びます。これも「恕」の精神ではないでしょうか。今、かなちゃんは、カンナの球根＝恕をバトンに世界中に花を咲かせています。平和と希望の花です。地球上がこの真っ赤な花で覆われたときっと穏やかな平和を作れると信じています。人は何かを媒体にすることで、相手に思いを馳せやすくなります。カンナをバトンして咲かせている子どもたちが、相手の国を攻めたりはできないものです。そんな心を人は深い部分に持っていると思えます。今、かなちゃんは、その小さな一歩を毎日がんばって歩んでいます。たんと、闘わない、訴えない、求めない。ただたんと花をさかせています＝カンナリレー。ひょうひょうと笑顔＝カンナスマイルを届けています。

そんな世界に行くかなちゃんが、マナーを学び、恕の精神を身に付け、自国の文化を知る。そんなシリーズが今回のビデオです。自国の文化を知れば、誇りに思います。自国の文化を敬う心が、他国の文化を理解し、敬う。その精神が世界平和には必要です。ゆるす＝相手を認め、受け入れる。このことができるようにゆるキャラかなちゃんはマナーを学び、日本文化を学んでいます。

広島で爆心地820mにたった1ヶ月で咲いてくれた「かなちゃん」をどうぞ皆様、かわいがってやって下さい。今、かなちゃんは一人じゃない、みんなと一緒にです。